



【高校生医療現場体験セミナーが開催されました。4・5頁】

目次

- 東日本大震災
DMAT隊・医療救護班派遣 2
- 自動料金支払機を導入 3
- ねっとわーく
松川町上片桐診療所 4
山路医院 5
- 話題の広場
医療現場体験セミナー開催 4～5
- がんの医療連携と
地域連携クリティカルパスについて ... 6
- 検査の窓 7
細胞検査とは
- 職場紹介 7
臨床検査科 その③（病理検査）
- 新任医師の紹介 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

DMAT隊・医療救護班を被災地へ派遣

～東日本大震災被災地への医療支援活動報告～



3月11日午後2時46分に発生した東北地方を震源とするマグニチュード9.0の大地震。地震直後に発生した巨大津波により、壊滅的な被害を受けた宮城・福島・岩手の3県には、震災直後から全国各地より医療支援チームが現地入りし、活動しています。飯田市立病院では、長野県よりDMAT隊(災害派遣医療チーム)の出動要請及び医療救護班の派遣依頼を受け、医師・看護師を中心に派遣チームを編成し、被災地での医療支援活動を行ないました。今後も、派遣依頼により、現地への医療支援活動を継続していきます。

また、福島県南相馬市からの要請を受け、南信州広域連合で避難市民の受け入れを行なうこととなりました。これに伴い、市立病院では3名の職員が現地への受入活動に参加しました。



★4月20日までの活動状況

派遣期間	派遣チーム	派遣人員	派遣地	主な支援内容
3/11～3/14	DMAT隊	4名	岩手県内5病院 花巻空港	・ SCU(広域搬送拠点医療管理所)活動 トリアージ、患者搬送等
3/24～3/27	第1次 医療救護班	6名	宮城県石巻市 石巻赤十字病院	・ 避難所巡回診療 ・ 医療物資支援
4/7～4/10	第2次 医療救護班	6名	宮城県石巻市 石巻赤十字病院	・ 避難所巡回診療 ・ 医療物資支援
4/21～4/24	第3次 医療救護班	4名	宮城県石巻市 石巻赤十字病院	・ 避難所巡回診療 ・ 医療物資支援



診療費の自動支払機を設置しました

飯田市立病院では、来院される方々の利便性向上のため、中央受付カウンター横に、診療費の自動支払機を2台設置しました。

設置した自動支払機は、タッチパネルのため操作はとても簡単で、スムーズに会計を終えることができ、クレジットカード払いなどにも対応しております。

また、静かな待合ロビー・会計での待ち時間の短縮などに配慮し、会計呼び出しは「アナウンスによる番号呼出」から、「ディスプレイによる番号表示」に変更しました。

支払いまでの流れ

会計待ち

以下の方も会計ができております

87	92	95
99	108	111
116	117	120
121		

85
の方まで会計ができております

ディスプレイにご自分の番号が表示されましたら、会計窓口または自動支払機へお進みください。



処方箋または薬の窓口

薬局

処方箋または薬をお受け取りください。

会計窓口

会計窓口

窓口会計の方は、有人対応で精算を行います。

自動支払機

自分の番号が表示されたら自動支払機でお支払いいただきます。

今後も、さらなる患者サービスの向上・待ち時間の短縮等に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ 医事課外来係 内線2127



松川町上片桐診療所

(松川町上片桐)



優しい在宅死をめざして 松川町上片桐診療所長 代田建史

卒業後、救急救命センターであらゆる事態に一人で対応できる腕をみがいて、和歌山の山奥から始まり、九州、岐阜とずっと僻地ばかり遍歴しておりました。今のこの診療所も少し前まで僻地診療所として機能を有していました。

難病を扱うわけでもないのに、解りやすい説明、人間全体からの医療を心がけてきたつもりです。「コキユーテンというサプリメント、あれはどんなもの?」とか「歯を磨くってこと、そんなに大切なの?」色んな質問にサット答えられる、説明パンフレットやパネル(www.daita.net)を作ってきました。「今からこのスポーツするけど、どんなトレーニングをすればいいの?」というのにも、即答できなくてはいけません。

在宅医療にも取り組んでおります。在宅療養支援診療所として、年間5、6人を自宅で看取っております。この長野県には200ヶ所ありますが、実際に看取りまでできているのは100ヶ所にとどまっています。この頃増え続けている、独居老人にセコム(?)をかけ、その第一通報者になっています。

先日、飯田市立病院にて催して頂いた緩和ケアセミナーで勉強させてもらったことが、大きな自信になっています。キーパーソン不在、独居の方のガン末期の緩和ケアを自宅で行えるようにしております。携帯を二つも持ち歩き、ガンの末期には、日曜日を始めとする週四回以上の往診と24時間待機。

以上は表向きで、実際、僻地の

良い点は、大きな騒音を出しても近所迷惑にならない点でしょう。ショパンコンクールの課題曲を、夜中でも、グランドピアノでガンガン遊べるのは、とても愉快に思っています。「気力は体力から」と、50歳年下の若者達とバドミントンで汗を流せられる基礎体力作りには、気をつけています。



代田先生

所在地	〒399-3301 下伊那郡松川町上片桐2849-3 ☎0265-37-2010
診療科目	内科
診療時間	9時00分～12時00分 15時30分～17時00分
休診日	日曜日、祝日、水曜日と土曜日の午後
往診	可
駐車場	あり



高校生医療現場体験セミナーが開催されました。 3月11日

地元高校生を対象にした高校生医療現場体験セミナーが開催されました。この講座は長野県の医師不足に対応する県の寄付講座で2年目となります。地域医療を目指す高校生36人が参加しました。

オリエンテーション後、6つのグループに分かれ、一次救命処置をはじめ内視乳房検診、電気メス実習、血液型検査などを体験したり、CTやMRIの検査機また、昼食時には当院の医師をはじめ研修医・看護師・技術部職員等との活発な

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

山路医院

(高森町吉田)



かかりつけ医として

山路医院 院長 山路隆胤
医師 山路聡志

当院は安政3年(1856年)、初代がこの地で医業に従事したことから始まりました。以後現在の高森町山吹、下市田に先代が医院を開設。昭和45年からJR飯田線市田駅近くの現医院において診療をおこなっております。

私は、平成4年に大学を卒業後、研修病院を経て母校の循環器内科の医局に入局いたしました。内科全般にわたるさまざまな疾患の治療に携わり、また派遣病院では子供から大人までさまざまな疾患の治療に従事してきました。平成21年帰郷し現医院を継承しています。

平成17年に高森町の女性の平均寿命が全国3位という発表が

されましたが、当地区では御高齢の方が元気に通院されています。そのため当院ではわかりやすく、ていねいな説明や診療を心がけています。また疾患別では高血圧症、高脂血症、糖尿病のような生活習慣病やメタボリック症候群の予防、早期発見、治療に力を入れています。特に循環器疾患(狭心症、不整脈、心不全など)については心電図、胸部レントゲン、心臓超音波検査、24時間ホルター心電図などの検査を行い、専門的な診断と治療をいたします。かかりつけ医として、この地で子供から大人までの健康をサポート

トできるような医院でありたいと思っています。

最後になりましたが、飯田市立病院の先生方、またこのような紹介の場を与えてくださった地域医療連携室のスタッフの方々に感謝申し上げます。



山路先生(中央)とスタッフの皆様

所在地 〒399-3102 下伊那郡高森町吉田475

☎0265-35-2198

診療科目 内科、循環器内科、小児科、皮膚科

診療時間 9時00分～12時00分 15時30分～18時00分

休診日 土曜日午後、日曜日、祝日

往診 可

駐車場 あり



鏡、エコー、気管内挿管、器などの見学を行いました。意見交換が行われました。



がんの医療連携と 地域連携クリティカルパス —第3回—

シリーズ3回目となる今回は、地域連携クリティカルパスを利用する患者さんがお持ちいただく「医療連携手帳」についてお話しします。

●医療連携手帳とは

手術などの治療を行なった飯田市立病院（地域がん診療連携拠点病院）とかかりつけ医が協力（医療連携）して、専門的医療と総合的な診療を適切にバランスよく提供するために使用する、患者さん用の手帳です。

また、患者さんもこの手帳をお持ちいただくことにより、ご自身の治療計画を常に確認できますし、体調面の自己管理ができます。

●手帳の主な内容

- ①患者さんの病状、治療内容等の診療情報
 - ②今後5年間の診療予定表（乳がんは10年間）
 - ③診療予定表に基づく受診日の診療記録
- などがあります。

※飯田市立病院では、安全で質の高い医療を切れ目なく提供していくため、飯田医師会と地域の医療機関の先生方にご理解とご協力を頂きながら、共通の「南信州医療連携手帳」を作成しています。

●手帳を使うことによる利点

- ①診療予定表により、「いつ」「どこで」「どんな」検査や診療を受ければよいか分かります。
- ②医療機関同士が患者さんの治療計画を共有出来るので、より適切な診療が可能になります。
- ③診療情報の共有により、かかりつけ医の診療を安心して受けることができ、通院時間や待ち時間が短縮し、通院の負担が軽減されます。

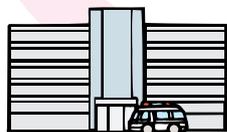
また、他の医療機関を受診する際に、診療する医師が手帳から患者さんの病状やこれまでの診療状況を把握することができ、迅速で適切な対応が可能になります。

さらに、保険薬局に手帳を持参すれば、より適切な服薬指導を受けることが出来ます。

手帳を利用した医療連携のイメージ図



飯田市立病院
(定期受診)



他の医療機関



患者さん



かかりつけ医



保険薬局

連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です。

検査の窓

その19

臓器の粘膜や粘液、痰、胸水、腹水、尿などには、臓器から剥がれた細胞が混じっています。また、腫瘍に針を刺して細胞を採取することもあります。これらを顕微鏡で観察する検査が細胞診です。病気の診断のほとんどは血液や尿の検査、画像診断などでつけられますが、腫瘍が発見され、それが良性か悪性(がん)かを判定

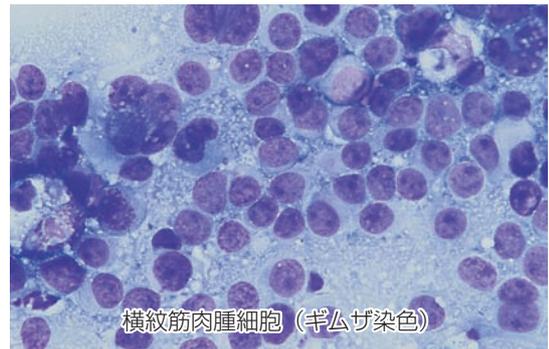


扁平上皮がん細胞 (パピニコウ染色)

細胞検査とは?

するのが困難な場合は、細胞診が決め手になることがあります。

採取された細胞は、95%エタノールで、固定という操作をして、染色を施して標本を作製し、細胞検査士が顕微鏡で観察します。悪性が疑われる細胞がある場合は、細胞診専門医とともに観察し、最終診断を下します。



横紋筋肉腫細胞 (ギムザ染色)

シリーズ ● 職場紹介 ● その28

【臨床検査科の紹介 その③(病理検査室)】

病理検査は、患者さんから採取された臓器や組織、細胞から顕微鏡標本を作製し、病気を検査、診断する部門です。病理検査室は手術室に隣接して位置し、手術中の病理検査に迅速な対応ができる環境にあります。スタッフは病理医2名(細胞診専門医1名含む)、臨床検査技師4名(細胞検査士2名含む)です。これらスタッフの連携で病理検査室は機能しています。

医療の中でがんの診断と治療が占める割合は格段に大きくなっています。病理検査(病理組織検査、細胞診検査)は、がんの早期発見に留まらず、治療法の選択や治療効果の判定、経過観察の各分野で利用されています。スタッフ一同、そのような時代に遅れな

いように、日々研鑽に努めています。



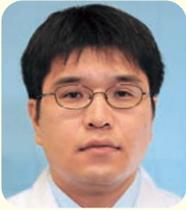
あ と が き

東日本大震災により被害を受けられた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地支援のため、3月11日(金)から当院のDMAT隊が岩手県へ派遣されました。引き続き、医療支援チームも被災地に向けて出発しています。職員一同、一日も早い復旧をお祈りしています。

編集委員 前澤英明



新任医師の紹介 平成23年4月1日



消化器外科
酒井 宏司
(さかい ひろし)
平成12年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



外科
市村 創
(いちむら はじめ)
平成21年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



心血管外科
月岡 勝晶
(つきおか かつあき)
平成9年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
松本協立病院



形成外科
柳田 卓也
(やなぎだ たくや)
平成12年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
国立病院機構長野病院



循環器内科
清水 貴裕
(しみず たかひろ)
平成19年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



小児科
塚田 洋樹
(つかだ ひろき)
平成20年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



耳鼻咽喉科
岡部 真理子
(おかべ まりこ)
平成20年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



消化器内科
高橋 俊晴
(たかはし としはる)
平成14年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



消化器内科
玉井 方貴
(たまい まさたか)
平成20年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



麻酔科
沓名 慎也
(くつな しんや)
平成21年卒業
平成23年4月1日着任
前勤務病院
八千代病院

研修医



柴田 有亮
(しばた ゆうすけ)
平成22年卒業



橋本 美緒
(はしもと みお)
平成22年卒業



星野 夕紀
(ほしの ゆうき)
平成23年卒業



近野 祐介
(こんの ゆうすけ)
平成23年卒業



生山 裕一
(いくやま ゆういち)
平成23年卒業



山本 悠太
(やまもと ゆうた)
平成23年卒業



唐澤 今人
(かわさわ いまと)
平成23年卒業

近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。